

# 廃炉国際共同研究センター(仮称)について

平成27年2月27日  
文部科学省

# 東京電力(株)福島第一原子力発電所の廃止措置における 研究開発推進体制

原子力災害対策本部

廃炉・汚染水対策関係閣僚等会議

廃炉・汚染水対策チーム会合

廃炉・汚染水対策現地調整会議

汚染水処理対策委員会

施設の考え方の  
提示・報告

廃炉等技術研究開発業務  
実施方針の策定・認可

独立行政法人  
日本原子力研究開発機構(JAEA)

**廃炉国際共同研究センター(仮称)**

産学官共同での研究実施が必要なもの

- 放射性物質の分析・研究施設
- 遠隔操作機器・装置の開発実証施設
- 国際共同研究拠点(新規)

原子力損害賠償・廃炉等支援機構

業務の範囲(廃炉関係)

- 廃炉等の研究開発に係る企画、管理等の業務を担う。  
(研究実施自体は、基本的にIRIDやJAEA等)

(今年度中に重要課題の「戦略プラン」を策定。)

- ・デブリ取り出し
- ・建屋の止水措置
- ・廃棄物対策

連携活用

協力

技術研究組合  
国際廃炉研究開発機構(IRID)

- 廃炉等の適切かつ着実な実施の確保を図るための  
助言、指導、勧告
- 廃炉等に関する情報の提供

# 国内外の英知を結集する拠点( 廃炉国際共同研究センター(仮称) ) の構築

目標：日本原子力研究開発機構（JAEA）を中核とした国際的な研究開発拠点を構築し、国内外の大学、研究機関、産業界等の人材が交流するネットワークを形成、産学官による研究開発と人材育成を一体的に進める体制を構築する。

## 【今後の取組】

- 平成27年4月に、日本原子力研究開発機構（JAEA）内に「廃炉国際共同研究センター」を組織として立ち上げ。当面は、東海、大洗地区の既存の施設を活用。
- 福島での研究開発拠点としてJAEAが整備予定の「モックアップ試験施設」（平成27年度～）、「分析・研究施設」（平成29年度～）を活用した共同研究事業を順次開始。
- また、幅広い分野に係る研究開発拠点として福島に「国際共同研究棟」を整備。（平成28年度～）

## 東京電力、IRID

国際廃炉研究開発機構（IRID）や、東京電力との連携、協力



連携・協力

## 福島県、環境省

環境創造センター（平成27年4月～）  
・環境モニタリング、環境回復研究  
福島県ハイテクプラザ  
・産学連携  
・地域産業との協力

連携・協力

## 廃炉国際共同研究センター（仮称）

国内外の研究者等100人～150人規模の参画を想定

東海・大洗等の施設を活用した事業（平成27年4月～）

### 【廃炉等に関する研究開発の加速】

- ・核燃料取扱、分析、モニタリング技術
- ・デブリ取り出し、廃止措置工法
- ・放射性廃棄物の取扱い、保管・管理など

### 【JAEA特有の試験施設群の活用】

- ・核燃料、放射性物質の使用施設
- ・高エネルギー量子照射施設 など

国際共同研究棟（福島）（平成28年度～）

・福島第一近郊  
・国内外の大学、研究機関等が廃炉研究のために共用できる施設として整備。

### 【幅広い分野の研究開発】

- ・廃炉等の研究開発、人材育成の拠点



モックアップ試験施設（平成27年度～）

連携・協力



### 【廃止措置研究開発】

- ・遠隔操作機器開発（除染、観察、補修）等

連携・協力

分析・研究施設（平成29年度～）



### 【廃止措置研究開発】

- ・難測定核種の分析、モニタリング手法開発等